

第49回 関東実業団対抗テニストーナメント大会結果報告書 2010.07.27

宇都宮大学教職員
監督:細島美智子

1. 大会概要
- ・日程 平成22年7月17日(土)・18日(日)
 - ・会場 山梨県小瀬スポーツ公園テニスコート
 - ・主催 関東テニス協会
 - ・主管 山梨県テニス協会
 - ・後援 朝日新聞社 山梨日日新聞社
 - ・協賛 ブリヂストンスポーツ株式会社
2. 試合方法
- ・女子8チームによるトーナメント戦。
 - ・コンソレーションにより順位決定を行う。
 - ・複2試合、及び単1試合による対抗戦
 - ・単複に重複出場は出来ない。
 - ・8ゲームズプロセットマッチ、ノーアドバンテージスコアリング方式。
3. 出場選手
1. 細島美智子 2. 六本木美紀 3. 加藤陽子
4. 恒安真佐 5. 森川由美子

4. 試合結果

- 1回戦 対 山梨県庁 (山梨) : 7月17日(土)
宇大教職員 ②-1 山梨県庁
- D2 細島美智子 ● 4-8 ○ 中川美紀
六本木美紀 岩下真希子
- D1 加藤陽子 ○ 8-5 ● 土橋浩巳
森川由美子 横山紅子
- S 恒安真佐 ○ 8-3 ● 渡邊智子
- 準決勝 対 千葉市役所 (千葉) : 7月17日(土)
宇大教職員 1-② 千葉市役所
- D2 加藤陽子 ● 3-8 ○ 金田幸恵
森川由美子 前田恵利
- D1 恒安真佐 ○ 8-5 ● 黒木愛
細島美智子 永田美由紀
- S 六本木美紀 ● 2-8 ○ 田中さや
- コンソレ2回戦 対 MDIS (神奈川) : 7月18日(日)
宇大教職員 0-② MDIS
- D2 加藤陽子 ● 1-8 ○ 美寿見奈穂
恒安真佐 布目こと野
- D1 森川由美子 ● 2-8 ○ 桜井茂美
細島美智子 渡辺みゆき
- S 六本木美紀 (打ち切り) 足立恵里奈

■5, 6位決定戦 対 三菱化学 (神奈川) : 7月18日(日)
宇大教職員 0-② 三菱化学

D2	細島美智子	● 6-8	○ 深沢 愛
	六本木美紀		三輪桂子
D1	加藤陽子	● 5-8	○ 嶋野恭子
	森川由美子		三田村真奈
S	恒安真佐	1-5 (打ち切り)	田中京子

5. 所感

■第1試合 対 山梨県庁 (山梨) 7月17日(土)

1戦目。対戦相手は、地元山梨代表の山梨県庁。4年前に関東リーグで対戦した時には、0-3で敗退しましたが、かなりいい試合ができたと思い記憶していましたので、今回は、ひるむことなく試合に臨めたと思います。ダブルス1-1で迎えたシングルス。関東大会初参加の恒安選手が練習の成果を発揮して、試合を決めてくれ、1回戦を突破することができました。何回か真夏の関東大会に出場し、暑さ対策についても万全を期すことができたことも勝因の一つだと思います。

D2 初めの数ゲームは調子が上がらず、ファーストサーブも入らず、ストロークも腕を振り切ることができず消極的になってしまいました。途中で気持ちを切り替えてミスも覚悟で思い切ったプレーにトライしましたが、追い上げならず、相手のスピードのあるストロークや確実なボレーに押され自分たちの普段のプレーができずに敗退してしまいました。

D1 出だしはなかなかエンジンがかからず、相手にリードされていたが、パートナーと「声を掛け合う」ことを意識し始めたら、息が合ってきて自然とポイントが取れるようになっていきました。逆に相手側は気持ちが下向きになっていったので、チャンスだと思い、そのままの集中力を維持することで勝利につながったと思います。振り返って気づくことはピンチの時こそ、声を掛け合いパートナーと力を合わせるということだと思います。これからもパートナーとお互い協力し合って、テニスを楽しんでいけたらと思います。

S サービス・ストローク共に安定しており、またコースの打ち分けもしっかりしていたプレーヤーでした。暑さで体力が落ち、早くポイントを取ろうと考えてしまったため、リターンミスが目立ってしまいました。今後は、セカンドサービスでリターンミスをしない、ロブを打ち込めるよう練習したいと思います。

■第2試合 準決勝 対 千葉市役所 (千葉) : 7月17日(土)

2試合目は準決勝、ダブルスを何とか一つとり、シングルスにポイントがかかりました。シングルの相手は、特に強打することもなく、ミスなく確実に返球してきました。攻めきることができなくて、決勝進出の機会を逃したことは、大変残念ですが、この試合の反省を今後活かすよう、甘いボールを確実に決める練習をしていきたいと思っています。

D2 相手チームにポーチがうまい選手がいて、その選手にみんなことごとく決められてしまいました。

技術力に加えて練習不足もあってか、後衛からのコースが甘くなっていて、下に沈めることもできなくなっていたことは今後の課題です。少ない時間の中で今後は課題を優先して、練習し試合に臨むスタンスが必要だと思いました。

D1 相手ペア一人のサービス・ストローク共にボールが重く、返すことが精一杯の時もありました。その中でも積極的に打ち、相手の返球ミスを引き出し、深いロブや緩急をつけたボールで相手を翻弄させ、勝つことができました。試合で、スマッシュをなかなか決められなかったのですが、8割の力でコースを狙う打ち方を練習していた成果が出て、何本か決めることができたのでよかったです。

S 特に強いストロークを打ったり、コースを狙ってくる相手ではなかったのですが、確実に返球でき、ほとんどミスのないねばり強さがありました。この勝負で全国大会が決まるというプレッシャーに押され、自分で攻めようとしてもミスをしてしまい、自滅の一戦でした。

■第3試合 コンソレ2回戦 対 MIDS (神奈川) : 7月18日(日)

D2 ミスの少ない確実なプレーをするペアでした。前衛に出てくることが多く、ボレーとスマッシュで多くのポイントを取られてしまいました。今後は並行陣で前衛に出てくる相手とも練習し、試合戦略を工夫したいと思います。

D1 技術的に完全に相手がうわまっていたのですが、後悔しないようにと、思いっきり打ちました。何本か前衛へのチャンスボールを作ることができましたが、より一層ストロークの精度を上げないことには実践レベルでは難しいと感じました。また並行陣でのダブル前衛は、雁行陣ばかりやってきた自分には対処が難しく、やはり下へ沈めるボールとロブの打ち分けの練習が必要だと思いました。

S 打ち切り

■第4試合 5位6位決定戦 対 三菱化学 (神奈川) : 7月18日(日)

私たちが1回戦で勝った山梨県庁が、この試合相手の三菱化学にコンソレで勝って、4位以内を決めるという結果となり、オーダーに少し迷いも出ましたが、何としてでも、ダブルスをひとつ取り、シングルスまで試合をまわそうという意気込みで臨みました。結果は、6位で、またしても念願の5位には、手が届きませんでした。

D2 勝負にこだわると委縮してしまうので、試合を楽しむべく、自分の攻めの気持ちのみで挑みました。6-6以降のゲームでボレーやポーチでミスが目立ち、決めの1点が取れず負けてしまいましたが、緊張することなく強気でプレーできました。崩れたときに少し冷静になれば負ける相手ではなかったと思いますが、リードをキープできる精神力に欠けていたと思います。

D1 序盤から集中して入ることができ途中まで4-2とリードすることができたが、途中から相手のミスが減り、こちらのミスが目立ってしまいました。特にリターンでのミスがもったいなかったと思うのでサービス・リターンは慎重に対処できるようにしたいと思います。

とはいえ、最後の最後までパートナーと一生けん命戦い、諦めることなくゲームに集中できたことは、自分にとって大変貴重な経験となりました。負けたとはいえ、とても内容の良い試合だったと思います。

S 立ち上がりは相手のペースで進められ、瞬時に4ゲーム取られてしまいました。体

に重心を乗せ、安定したストロークが打ち出せたのは、5ゲーム目からでした。サーブ・ボレー・決め球に焦点をあて今後の練習に励みたいと思います。(ポイント決定のため途中打ち切り)

6. まとめ

関東リーグに3回、ビジネスパルの関東大会に3回、出場させていただいた経験から、ほとんどの選手が、緊張することもなく試合に臨めたと思います。試合の経験が技術的にも精神的にも向上できる要因になりますので、今回の試合経験も大変貴重なものとなりました。特にストロークの安定、ミスの少ないテニスをすることが大切なのは昨年と同様に感じたことですが、「攻撃は最大の防御なり」も実感しました。守っているだけでは、勝てないので、チャンスを的確に判断し、攻める時は、落ち着いて攻めて行くことが大切だと思いました。そのためには、やはり練習しかないと思いますので、これからは練習方法を検討し、特にチャンスボールを決める練習を取り入れていきたいと思います。

ただ、監督を選手が兼任しているため、他の選手の試合中に適切なアドバイスができず、逆に相手チームのちょっとマナー違反ではないかと思うような監督の応援や、選手のアウト判定への抗議などに毅然と対応できなかったのが、残念です。これからは、ルールについても、チーム全体に周知徹底し、監督がいなくても、対応できるよう心がけていきたいと思います。

なお、上位チームに全国大会辞退のチームが出て、6位の私たちに全国大会出場の権利が回ってきたのですが、全国大会の時に一部の選手の都合がつかず、せっかくの機会なのに辞退したことは、大変残念であり、県の代表として、心からお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。

最後になりましたが、実業団委員会の皆様にはいろいろとご支援いただき、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

以上

